

受信不良の主な原因と改善方法

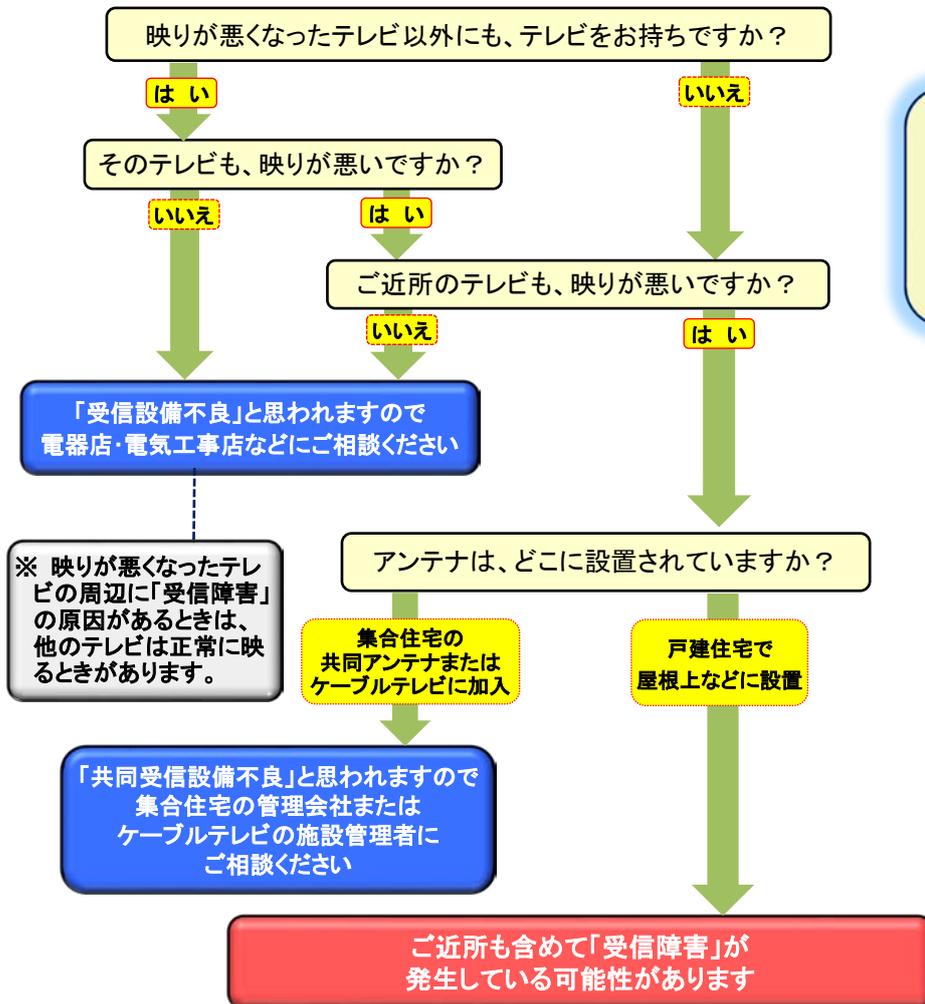
デジタルテレビ放送の「受信不良」

- デジタルテレビ放送の「受信不良」の原因には、「受信障害」と「受信設備不良」があります。
- 「受信不良」の症状は原因に係わらず、「ブラックアウト」と「ブロックノイズ」になります。



テレビ「受信障害」と「受信設備不良」の見分け方

重要



テレビ受信障害の原因をご自身で調べるには？

○ ご自宅で使用している身近な電気機器が原因の場合もありますので、映りの悪いテレビを見ながら、各電気機器の電源を切るか電源プラグを順番に抜いて(注)映りが良くなれば、その機器や関連している機器(接続している機器や連動している機器を含む)が原因の可能性がります。

その場合は、機器メーカーや設置業者などにご相談ください。

(注) 電源を切ると設定がリセットされるなど、電源再投入後の動作に影響が出る場合がありますので、注意が必要です。電源プラグを抜き差しする際には、感電しないよう十分ご注意ください。

○ 「受信障害」は、ご自宅内に原因があるとは限りません。ご自身で調査するのは困難な場合もあります。「受信障害」と思われる場合は、無理に調査せずに、お近くの総合通信局(長野県・新潟県の方は信越総合通信局)の受信障害対策官にご相談ください。なお、「受信設備不良」と思われる場合は、電器店にご相談ください。

テレビ受信障害の調査には症状の把握が重要です

○ 受信障害の原因を調べるには、発生時期等の情報が参考となります。具体的な症状を記録しておきましょう。

1. いつ頃から発生しましたか？

①2、3日前 ②10日ぐらい前 ③1ヶ月以上前 ④住み始めたとき(月 日頃)から ⑤不明

2. 発生時期と同時期に、ご自宅や周辺で変化はありませんでしたか？

例：新しい家電製品を買った。自宅付近で工事が始まった。など

3. どのくらいの頻度で発生しますか？

①毎日 ②2～3日の間隔 ③不定期 ④その他(具体的に記録しましょう)

4. 発生する時間帯はいつですか？

①1日中 ②日中帯 ③早朝のみ ④夜間のみ ⑤特定の時間帯(時頃から 時頃まで) ⑥不定

5. 受信障害が発生すると、どのくらいの間隔で発生しますか？

①連続的 ②数分間隔で断続的 ③1時間内で断続的 ④数時間内に断続的
⑤その他、具体的な発生状況(詳細に記録しましょう)

6. どのような症状が出ていますか？

(画面の状態、症状の出たチャンネル(放送局名)、雑音の様子を詳細に記録しましょう)

これらの記録は、電器店、電気工事店、総合通信局等に相談する際に大切な情報となります。

<受信障害の症状の特徴と障害事例との関係を見てみましょう>

テレビ受信障害事例① ブースター発振

◎症状の特徴

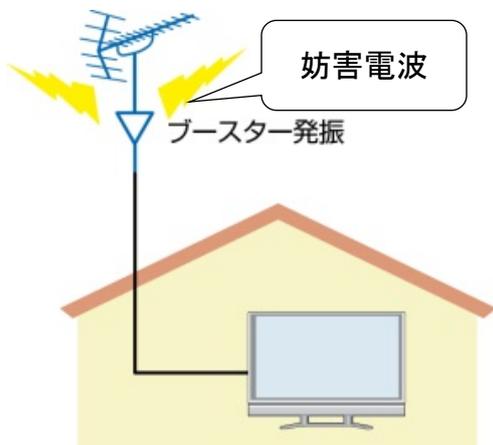
- 特定のチャンネルが映らなくなります。
- 障害は広範囲(50m～1km 程度)に発生することが多いです。

◎原因

- ご自宅か近隣宅で使用されている受信ブースターの経年劣化や施工不良により、電波の異常発振が起こり、妨害電波が発射され特定のチャンネルだけに障害を与えます。

◎対策

- 経年劣化したブースターの交換、または施工不良を改善



経年劣化したブースター

テレビ受信障害事例② 屋外照明（水銀灯）

◎症状の特徴

- 日没頃から夜間にかけて、一部または全チャンネルが映らなくなります。
- 症状は短い間隔で繰り返すときがあります。

◎原因

- 水銀灯の老朽により自動点滅器に影響を与え、本来は完全に点灯するものが動作不安定となって点滅を繰り返し、点滅と同期して障害を与えます。

◎対策

- 水銀灯の交換・修理



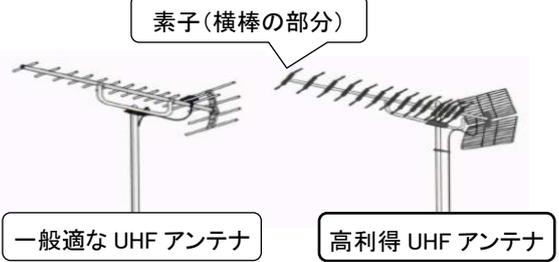
テレビ受信設備不良の主な原因①

(アンテナ : 種類、設置位置・高さ)

◎ お住まいの地域に即した性能のものを使用されていますか？

○ アンテナは、一般的に素子数が多いほど利得は高くなります。

○ 送信所から離れるほど、その地域に届く電波は弱くなりますので、利得の高いアンテナの使用をお勧めします。



◎ アンテナの設置位置は適切ですか？

○ 設置場所や高さによって受信できる電波の強さが大きく変化することがありますので、全チャンネルが良好に受信できるように調整が必要です。

樹木などに遮蔽されていても、アンテナの設置位置や高さの変更により改善されることがあります

テレビ受信設備不良の主な原因②

(配線～壁面テレビ端子)

◎ ケーブルの劣化や施工不良はありませんか？

○ 性能が保証されていない古いケーブルでは、経年劣化により、高い周波数のテレビ信号が弱くなる場合があります。

○ 配線時にケーブルを極端に折り曲げたり、ケーブルを固定する際にケーブルの被覆を傷つけてしまうと、腐食しやすくなるほか、断線やショートの原因となります。

◎ 分岐器・分配器等の劣化又は施工不良はありませんか？

○ 宅内でテレビ信号を分配する分岐器や分配器、テレビを接続する壁面端子に経年劣化や施工不良があると、受信不良となることがあります。

○ 分配器を使用せずに不適切な接続をしているときもテレビ信号が弱くなるため、受信不良の原因となります。



ケーブルの不適切な接続例

注 意 事 項

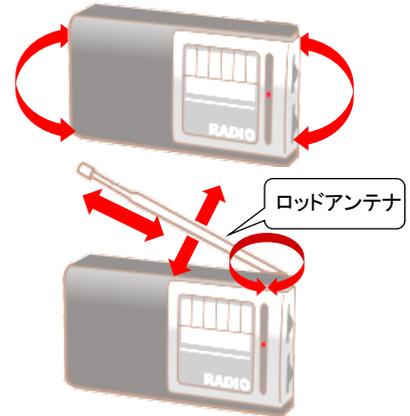
○ アンテナの点検・調整は、屋根や屋上での作業になるほか、配線の点検・改善には専門の知識や技能が必要となります。電器店や電気工事店などへご相談されることをお勧めします。

◎ ラジオの聞こえが悪いときには？

○ アンテナを調整してみましょう。

▶ AMラジオは、受信機内部のアンテナで受信しています。
聞こえが悪いときは、受信機の向きを変えてみてください。

▶ FMラジオは、外付けのロッドアンテナで受信しています。
聞こえが悪いときは、アンテナの長さや向きを変えてみてください。



○ ラジオを聞く場所を変えてみましょう。

▶ ラジオの電波は建物の中では弱くなります。
窓の近くへ移動してみてください。

▶ 電気機器からの影響によって、聞こえが悪くなる場合があります。
電気機器から離れた場所へ移動してみてください。

◎ AMラジオが夜間に聞こえにくくなるときには？

○ 中波放送であるAMラジオは、電波の性質上、夜間になると遠方のラジオ局の放送が聞こえるようになり、近くのラジオ局の放送と混信が起きて聞こえにくくなる場合があります。ときには、外国の放送局と混信することもあります。

○ 同じAMラジオの放送であっても、違う周波数で放送していたり、同じ放送内容をFMで補完放送(ワイドFM)していることがありますのでお試しください。詳しくは各放送局のホームページでご確認ください。

◎ ラジオをインターネット経由で聞くには？

○ NHKや民放の一部ラジオ局は、インターネット環境があれば、パソコンやスマートフォンなどを使用して、雑音の少ない音でお聞きいただけます。

○ 通常のラジオ受信機器でお聞きになる放送と、放送エリアが異なる場合があります。

また、番組内容が一部異なる場合があります。

○ ラジオ放送によって、必要なインターネット環境が異なる場合があります。

詳しくは、お聞きになりたい各ラジオ放送局にお問い合わせください。



お問い合わせ、ご相談は、信越総合通信局放送課受信障害対策官までお願いします。

電話026-234-9991